

次回は9月25日!
本日地方を
許すな河野を!

次々ウリが暴露

追いつめられた前車
務課長河野に追撃の
叩きを次回九・二五
審問に結集しよう。

木戸君への「動労千葉
脱退強要」事件の地労委
闘争もいよいよ大詰をむ
かえている。

今回は、前回にひきつ
づき動労千葉弁護団より
前車務課長河野への反対
尋問が行なわれた。

今回の尋問では、河野
が、一貫として動労千葉
を敵視し続け、動労千葉
破壊のために様々な不当
差別・不当労働行為をく
り返してきた人物である
ことを暴き出すことを目
標として弁護団より鋭い
追及が行なわれた。

河野は、「自分は組合
問題には無感心」をよそ
おと、ウソにウソを重ね
る『証言』をくり返し
たが、「組合敵視」「動
労千葉憎し」の心情はか
くしようにもなく随所に出
てしまい、またもや河野
証言は支離滅裂、大失敗
のまま終了することとな
った。

弁護団からは、①五七
予科生のハンドル訓練に
あたつての面談のなかで
河野が組合脱退強要を行
ない、これに応じた者と
東鉄労組員のみを優先
して実施したこと、②貨
車解体作業に動労千葉組
員・旧国労組合員のみ
を強制配転し、しかも、
鉛中毒の危険性が指摘さ
れた後にも、「団交を開
くつもりはない、危険だ
などと言うのはオーバー
なんだ」と言い放つたこ
と、③乗務員の食事時間
確保をめぐる団交の席上
「私なら二〜三分で食事
できる」とひらき直り、
極めて不誠実な対応を行
なつたこと、④職場規律
確立と称して、連日のよ
うに木更津で組合バッチ
に対する弾圧や、出勤時
間即点呼の強制を行ない、
副支部長、書記長をはじめ、
活動家を強制配転し
たこと、⑤走行中の列車

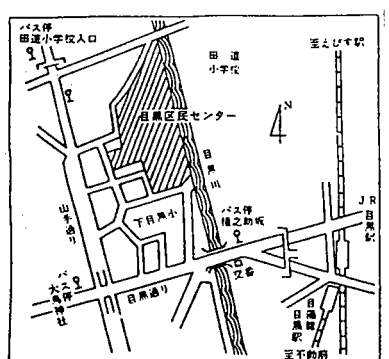
の運転席に泥酔した区長
が乱入したことに対し、
「時計を出していなかつ
た運転士の方が悪い、区
長は悪くない」と公言し
たこと、⑥そして、東中
野事故の原因と考えられ
る「赤信号を越えて列車
をつめる」というATS
の取り扱いに関する指導
文書を現場におろし、大
混乱をまねいておきなが
ら、「間違っていない」と
と居直り続けたことなど、
今までの「悪業」の数々
が追及された。

河野は、この追及に対
し、「知らない」「そん
な趣旨ではない」「属人
的なことには関与する立
場がない」等々、「知ら
ぬ存せぬ」をきめこもう
としたところまではよか
つたものの、「小集団や
提案に反対する者は、会
社の発展にとつてのぞま
しくない、やっている人
が評価されるのはあたり
まえ」「組合の印のつい
たネクタイピンを着ける
のは、勤務時間中の組合
活動だ、許されないのは
当然」「私は早メシだか
ら、二、三分で食えると
言つただけ」「区長が酔
つていたのは確かだが、
運転士が時計など出して
いなかったから注意した

だけだ」と段々本音が出
てしまい、弁護団に示さ
れた「日刊動労千葉」に
対しては、「しよせんは
組合ピラダノ」と、つい
ついに敵意をあらわにし
てしまふという有様であつ
た。

河野の尋問は、聞くべ
き問題点があまりに多い
ため、結局、この日にも
終らず、次回もひき続き
行なわれる。次回審問は、
九月二五日、河野に続き
組合側から再度木戸君と
田中企画部長が証言にた
つ予定である。

9 全国労働者総決起 10 集会にあつまるう



「全国交流センター」は、十一月
総評解散、「連合」への吸収・合併
という右翼労働統一攻撃にたいし、
九月十日、目黒区民センターホール
で反「連合」・反統一労働組、全国
労働者総決起集会を開催する。この
呼びかけにこたえ、全力で結集しよう

日時 九月十日(日)午後一時開会
会場 目黒区中小企業センターホール
(目黒区民センター内)
(目黒駅下車徒歩一〇分)

全国労組交流センター